

「電気自動車の今後の展望」

～ 部品の信頼性と、ものづくり産業への期待！～

前鳩山政権が打ち出した「2020年までにCO₂を1990年比で25%削減する」という大きな目標に向かって、電気自動車に対する期待が高まっており、社会的にも、特に自動車産業への対応が急務と捉えられています。

電池とモーターで動かす電気自動車は、仕組みが単純になるため、ガソリン車と比較して部品が1/3に減少すると言われております。これは、自動車の部品を製造している加工会社にとっては、仕事が激減する可能性があることを意味し、関連する企業は何らかの対策を差し迫られることとなります。

一方で、電気自動車は仕組みが単純になるゆえに、「自動車」を作るのも自動車メーカーだけとは限らなくなる…つまり、中小企業でもメーカーになれるチャンスが十分にあるとも言われています。既に中小企業が連携をして開発を進めている事例が出ていますが、一方で、企業同士の調整や資金繰り、販売手法など、事業を軌道に乗せるまでの課題は少なくありません。

こうした背景のもと、今回の先端技術セミナーでは、日本の「ものづくり産業」活性化への期待を込め、「電気自動車の今後の展望」について、元スバルテクニカインターナショナル(株)社長の工藤一郎氏にご講演戴きます。また、電気自動車部品の基本および社会的対応の観点から、「部品の信頼性や環境対応」について、沖エンジニアリング(株)の方々からご講演戴きます。



◎日時：平成 22 年 8 月 20 日 (金) 午後 4 時～6 時 30 分

◎場所：八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」

<第一部> 電気自動車の今後の展望

◆電気自動車の過去、現在、未来 (16:00～17:00)

～ 自動車動力システムの動向と展望、

2次電池の動向、EV普及に向けての課題 他 ～

元スバルテクニカインターナショナル(株)社長 工藤一郎氏

<第二部> 電気自動車部品の信頼性評価と環境対応

(17:10～18:30)

◆「ものづくり」に欠かせない部品の評価技術

沖エンジニアリング(株)デバイス評価事業部 加藤且宏氏

◆自動車用部品の評価事例

沖エンジニアリング(株)デバイス評価事業部 宇都宮雅彦氏

◆欧州 REACH 完全対応、高懸念物質分析

沖エンジニアリング(株)環境事業部 征矢健司氏

◎主催：八王子市 後援：社団法人 首都圏産業活性化協会／サイバーシルクロード八王子

◎参加費無料 定員50名 ◎講演会終了後、午後7時30分頃まで交流会を予定、参加費1,000円

○参加申込先

八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」までTEL・fax・メールでご連絡ください。

TEL/fax 042-648-3276 e-mail u6895cu429x@asahi-net.or.jp

社名 業種 (なるべく詳しく)

参加者氏名 役職 交流会参加 する しない

TEL e-mail

参加会社・組織の名簿を配布しますが記載への同意を する しない

※申込に際し記載していただきましたその他のデータは八王子市が主催、後援するセミナー等の周知以外には使用しません。

